

2022 年の船出 詩篇 107:23-32

2022. 1. 2 (睦月) 丘の上 NO. 673
春日部福音自由教会 山田豊

2022 年、新年あけましておめでとうございます。本日は、23 節のフランシスコ会訳聖書の訳を借用して、「2022 年の船出」という説教題にいたしました。

ここでの船出は、大海にこぎ出して商売をする人の船出です。旧約聖書の時代には、すでに海外貿易をしていました。

25-27 は、嵐に遭遇して、激しい船酔いと転覆の危険にさらされている人の姿が描かれています。神の預言者でありながら、神様の招きの声から逃げたヨナも、イエスの弟子たちも、このような経験をしました。弟子たちの場合は、海よりも小さなガリラヤ湖での経験です。

マタイ 8:23-24

それからイエスが舟に乗られると、弟子たちも従った。すると見よ。湖は大荒れとなり、舟は大波をかぶった。ところがイエスは眠っておられた。

この時、嵐にあった船の中には、イエスもおられたのです。しかしぐっすり寝ておられた様子を見てイエスを起こしたのは、彼らの中に主を信頼する思いがなかったからです。「主がついてれば、怖くはないと、聖書の中に、かいてあります」という歌をすっかり忘れてしまったのです。もっとも、この時代にこの讃美歌はなかったと思いますが。あなたの信仰は、どこにありますか？頭の中だけですか？それとも、あなたの血となり、肉となっているのでしょうか。艱難辛苦の時にこそ生かされる、そのような信仰の生涯を送らせていただきましょう。

現在ロビーに掲げてある扁額には「近日船出つかまり候」と刻まれています。高山右近日本決別の書状の書き出しです。この手紙を書いたから 26 日後、1614 年 11 月 8 日に、長崎福田港から船出したのです。右近にとっての新しい船出は、国外追放というまことに厳しいものでした。

右近の叫びは天に届かず、救いがなかったかのように思われます。しかし右近は、そのようになって希望を捨てることなく、30 節にある「その望む港」、すなわちパライズ、天の御国を目指していたのでした。今日まで、右近の人格とその功績は、私たちに信仰者としての姿を語ってくれています。

2022 年の船出は、すでに始まっています。岸を離れたのです。その航海は、どのようなものになるのでしょうか。あなたの前に広がる沖には、希望の港があるのですから、主イエスを信頼して、それぞれの航海を続けて参りましょう。

引用聖句

ヨナ 1:4 ところが、【主】が大風を海に吹きつけられたので、激しい暴風が海に起こった。それで船は難破しそうになった。また、大魚に飲まれたヨナの心境は、このように描かれています。

ヨナ 2:3 あなたは私を深いところに、海の真中に投げ込まれました。潮の流れが私を囲み、あなたの波、あなたの大波がみな、私の上を越えて行きました。

マタイ 8:23-24 それからイエスが舟に乗られると、弟子たちも従った。すると見よ。湖は大荒れとなり、舟は大波をかぶった。ところがイエスは眠っておられた。

ヨナ 2:1-2 ヨナは魚の腹の中から、自分の神、【主】に祈った。「苦しみの中から、私は【主】に叫びました。すると主は、私に答えてくださいました。よみの腹から私が叫び求めると、あなたは私の声を聞いてくださいました。

マタイ 8:25-26 弟子たちは近寄ってイエスを起こして、「主よ、助けてください。私たちは死んでしまいます」と言った。イエスは言われた。「どうして怖がるのか、信仰の薄い者たち。」それから起き上がり、風と湖を叱りつけられた。すると、すっかり凪になった。

ヨハネ 14:1 あなたがは心を騒がせてはいけません。神を信じ、また私を信じなさい。